

No.5

こんにちは。オレンジカフェの松井です。現在、緊急事態宣言中のため、5月もオンライン（zoom）のみでカフェを行いました。

先月に引き続き、話し合われた内容につきまして、参加できなかった皆さまにもご紹介していこうと思っております。

それでは、次回、6月（**2021年6月23日(水)14:00～、オンライン開催**、URLはのちほどお送りいたします。）も皆さまの御参加をお待ちしております。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます

☉水分補給について

- ・トロミよりはザラミ
- ・・・人参、リンゴ、オレンジ、

甘酒などを入れる。

- ・卵豆腐、水ようかん
- ・炭酸+フルーツ
- ・炭酸+フルーツジャム
- ・炭酸+アスコルビン酸

※炭酸水で薬を飲むと吸収が阻害されるかもしれません。



☉治験

アデュカヌマブ (Aducanumab)は6月にFDAが結論をだす予定。認知症が治る薬が承認されたら、いくらくらいなら出せますか？

→年間数百万円くらいならやむを得ない、と考える人と、できるだけ安くしてほしい、という人といましました。ちなみに日本で一番価格が高い治療（ゾルゲンスマ）は1億6700万円だそうです。

（※6月7日に承認されました。年間56000ドルくらいかかるみたいです。）

☉幻覚症状に対する対応

- ・否定も肯定もしない。
- ・幻覚が見えていて幸せな方もいれば、困っている方もいる。困っている方に対しては、追い出す動作をしたり、共感しながら女優になるようにする。
- ・感情に寄り添うようにする。
- ・怖い夢を見ている時には、起こした方がよいが、そうではないならば、そのまま。

☉ナン・スタディについて

1986年に始まった『ナン・スタディ』というアメリカの修道女678名を対象とした研究があります。修道女たちは同じものを食べて、同じ生活をして、同じように年老いていきます。亡くなった時に脳を解剖したところ、アルツハイマー病の病理学的異常の有無とその方たちの認知機能にはほぼ関係がないという驚くべき結果になりました。

アルツハイマー病の病理学的所見が非常に強くても、大して認知機能に異常がなかったという人も多く、アルツハイマー病の病理学的所見がほとんどなくても、認知機能が低下していた人もいたようです。では、亡くなる前の認知機能と関係していたのは何かということ、その人たちが若い頃に行った手紙の内容との因果関係であるということがわかりました。

20代の時に書いた文書、日記、手紙に複雑な文章を書いていた人は、認知機能に低下はなかったようですが、「今日ご飯を食べて、寝ました」のような簡単な文章を書いていた人は低下していたそうです。

結論として、元々有していた能力というのは大事であり、若い頃から頭を使うということが、大切なようです。

引用：認知症ネット

<https://info.ninchisho.net/archives/6912>